ビリー・ホリデイ物語／奇妙な果実（1972）

LADY SINGS THE BLUES

メディア 映画
ジャンル 伝記　音楽
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　125分
初公開日 1973/06/02
公開情報 ＣＩＣ

【キャッチコピー】
髪に白い花、魂のブルースで人々の心をとらえた　〈偉大な歌手〉ビリー・ホリデイの愛と感動の生涯！

【解説】
　ホリディの自伝（邦題『奇妙な果実』。これは彼女の自作ブルースの曲名で、かつての黒人奴隷が私刑の挙げ句、木に吊され死んでいる様を唄ったもの）に基づき、モータウンの社長ベリー・ゴーディが、当時同社の看板だった元シュープリームスのＤ・ロスに主演させた、歌に愛に生き、麻薬に溺れた天才ジャズ歌手の半生記。１５歳で強姦され、一時は売春婦もしたあとクラブで歌って成功するが、若い頃よりの麻薬中毒から抜けきれず、刑務所送りや治療施設での生活を余儀なくされるビリー。ロスは予想よりずっと繊細に彼女の脆い人間性を表現しているが、いかんせん歌声が似ても似つかず、あの深み、渋み、麻薬に声を潰されてからでも溢れていた生命力をまるで感じさせない。また、その非業の死まで描かず、顔役の夫（Ｂ・Ｄ・ウィリアムズ）の尽力でカーネギー・ホールでの公演が成功する所で終わるのも甘ったるい。

【クレジット】

監督	シドニー・Ｊ・フューリー	Sidney J. Furie
製作	ジェイ・ウェストン	Jay Weston
	ジェームズ・Ｓ・ホワイト	
製作総指揮	ベリー・ゴーディ	Berry Gordy
原作	ビリー・ホリデイ	Billie Holiday
	ウィリアム・ダフティ	
脚本	テレンス・マックロイ	
	クリス・クラーク	
	スザンヌ・ド・パッシー	Suzanne de Passe
撮影	ジョン・Ａ・アロンゾ	John A. Alonzo
音楽	ミシェル・ルグラン	Michel Legrand
	ギル・アスキー	Gil Askey
出演	ダイアナ・ロス	Diana Ross
	ビリー・ディー・ウィリアムズ	Billy Dee Williams
	ジェームズ・キャラハン	James Callahan
	ポール・ハンプトン	Paul Hampton
	リチャード・プライアー	Richard Pryor
	ヴァージニア・ケイパーズ	Virginia Capers
	スキャットマン・クローザース	Scatman Crothers

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.